

福島第二原子力発電所における緊急安全対策「現場実動」訓練の実施について

福島第二原子力発電所では、平成23年5月20日に国へ緊急安全対策を提出し、同対策の一環として、平成23年5月13日に第1回目の緊急安全対策訓練を実施しました。
平成23年10月13日、対応要員の更なる技能向上等を目的に、各実動部隊内の連携・機能等を確認する「現場実動」訓練を実施しました。

訓練の目的

津波により「交流電源を供給する全ての設備の機能」、「海水を使用して原子炉施設を冷却する全ての設備の機能」、及び「使用済燃料プールを冷却する全ての設備の機能」を喪失した場合において、炉心損傷及び使用済燃料の損傷を防止し、放射性物質の放出を抑制しつつ、原子炉施設の冷却機能の回復を図るための諸対応を、「現場実動」訓練を通じて確認すること。

主な訓練項目

①電源車の設置による電源確保訓練

全交流電源喪失時に、原子炉、使用済燃料プールへの注水や除熱機能を維持するため、電源車を利用して必要な電源を供給する訓練（1～4号機に電源車を配備、2、4号機にて電源ケーブルとの接続確認）

<使用資機材> 電源車6台、電源ケーブル（総延長1160m敷設済み）



電源車の配備（4号機）



電源ケーブルの接続（2号機）

②原子炉・使用済燃料プールへの注水訓練

消防車を使用し、原子炉や使用済燃料プールへ淡水及び海水の注入を行う訓練

○淡水：ろ過水タンクや耐震防水槽から2、3号機の原子炉屋6階（仮設タンク）への送水確認

○海水：取水口から消防車を使用して海水を取水し、屋外への放水を確認

<使用資機材> 消防車3台、消火ホース（総延長500m）



耐震防水槽からの送水



原子炉建屋（仮設タンク）への送水状況（2号機）

③原子炉・使用済燃料プールの除熱訓練（予備電動機の運搬）

海水側設備の電動機が浸水により使用不能となった際、予備電動機（模擬）を保管箇所から搬出、搬送する訓練（4号機で実施）

<使用資機材> 予備電動機（模擬）1台、搬送用トラック1台



予備電動機（模擬）の搬出（4号機タービン建屋）



4号機海水熱交換器建屋への搬送

④ガラ撤去等訓練

津波により道路上に散乱したコンクリート片等（ガラ）の障害物を重機で撤去するためのルート確認を行う訓練

<使用資機材> ホイールローダ、バックホー



ホイールローダ



バックホー